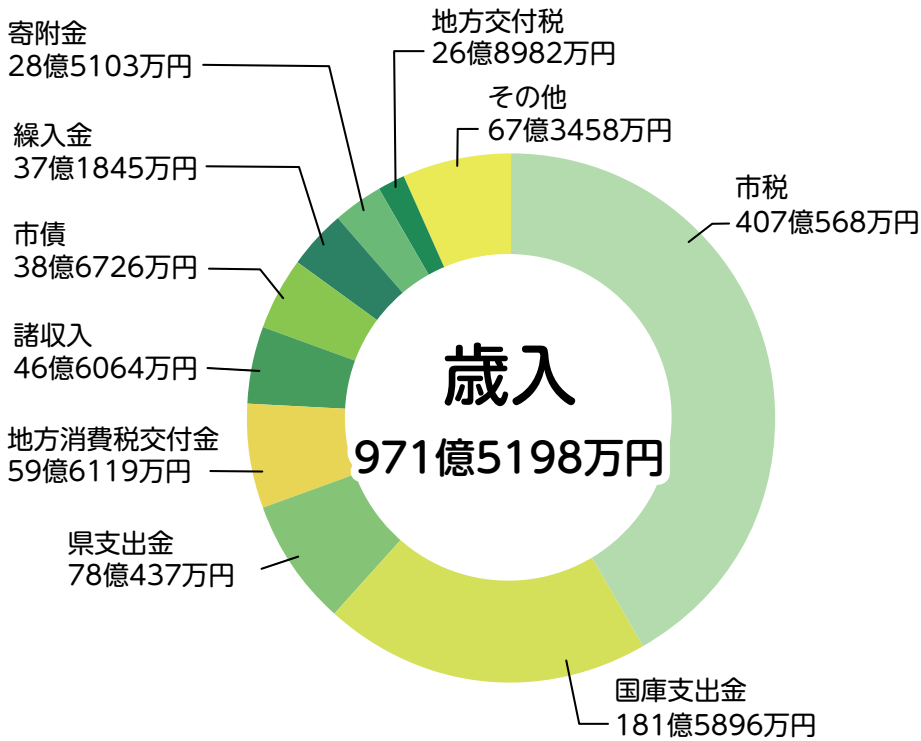


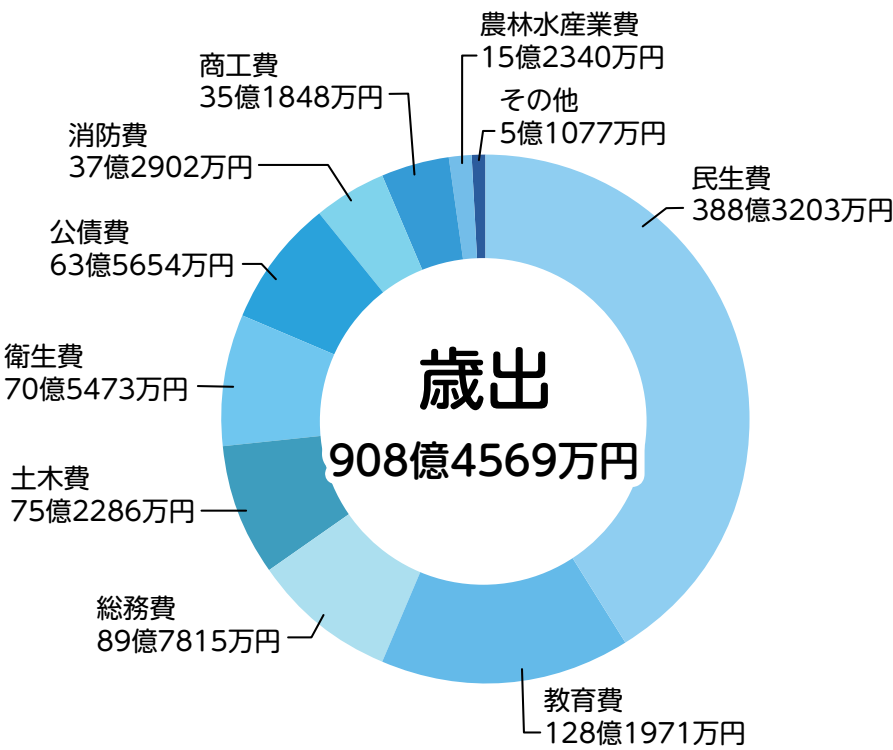
令和5年度 決算のお知らせ

財政課 ☎0276-47-1816

一般会計決算



歳入歳出差引額は63億629万円です、うち33億円を基金に蓄え、残りを令和6年度予算として使っています。
※金額の端数は整理してあります。



主な取り組み

ハード事業

- 小学校屋内運動場空調設備設置事業
- (仮称)市民体育館建設事業
- 市営住宅建設事業



ソフト事業

- 重点支援地方交付金低所得世帯支援事業
- デジタル地域通貨(OTACO)事業
- 給食費無料化事業



目的税の用途

都市計画税 (16億201万円)	街路整備、公園整備、下水道、市街地開発の都市計画事業など31億7648万円に充てました
入湯税 (63万円)	観光振興2194万円に充てました
森林環境譲与税 (2482万円)	森林環境譲与税基金に全額積み立て、基金から取り崩した2989万円は公園管理費や国史跡等調査事業の備品購入費、森林管理経費の委託料、有害鳥獣対策等経費の機器借上料などに充てました

特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	200億322万円	198億4945万円
後期高齢者医療	30億2309万円	30億1338万円
八王子山墓園	8706万円	8196万円
介護保険	182億1857万円	173億2596万円
太陽光発電事業	2億5630万円	2億4330万円

決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率を公表します

いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果となっています。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	5年度	4年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	—	—	11.30	20.00
② 連結実質赤字比率	—	—	16.30	30.00
③ 実質公債費比率	5.8	6.0	25.0	35.0
④ 将来負担比率	28.2	24.3	350.0	

※実質収支が黒字であるため、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率は「-」です。
＜参考＞実質黒字の程度は、5年度:①7.30%の黒字、②11.52%の黒字
4年度:①7.18%の黒字、②12.08%の黒字

資金不足比率

(単位:%)

区分	5年度	4年度	経営健全化基準
下水道事業等会計	—	—	20.0
太陽光発電事業特別会計	—	—	

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「-」です。

比率などの概要

実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(※)に対する比率 (※)自治体が通常水準の行政を行う上で必要な一般財源の額
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の度合いを表す比率
早期健全化基準	市町村の財政規模などにより設定された数値。基準を超えた場合は、「財政健全化計画」の策定が必要
財政再生基準	市町村、県ごとに設定された数値。基準を超えた場合は、「財政再生計画」の策定が必要

広報おおたの
入手方法

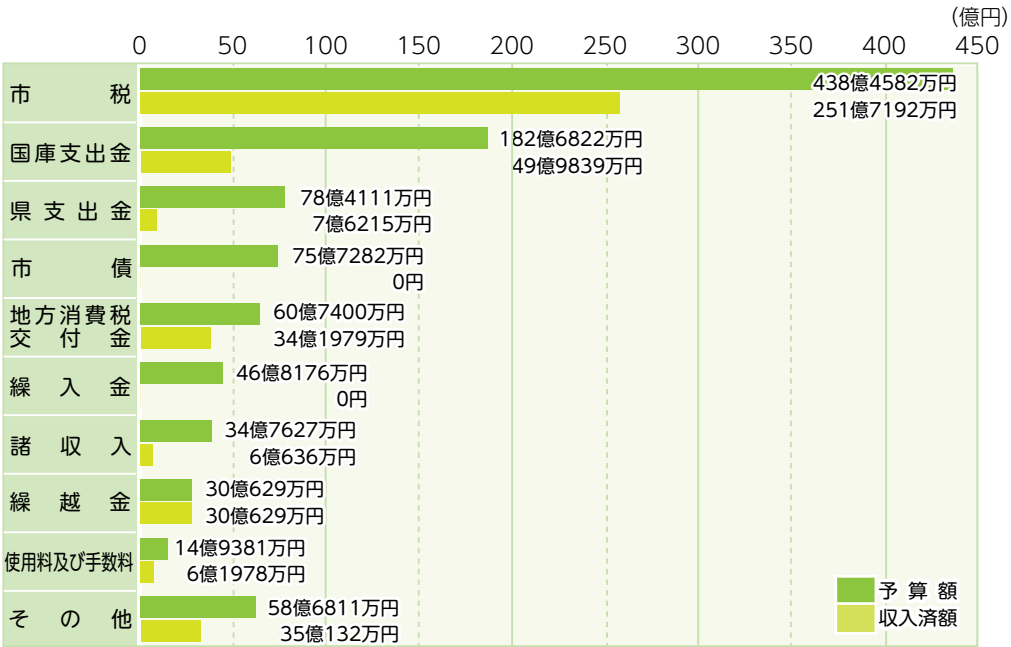
折り込み配布＝朝日・産経・上毛・東京・日経・毎日・読売新聞、タウンぐんま 配置＝市役所各庁舎や行政センターなどの市の施設、市内のファミリーマート・セブンイレブン・群馬銀行・桐生信用金庫・アイオー信用金庫・郵便局・J A・イオンモール太田・とりせん・ジョイフル本田・太田理容組合加盟店(一部除く)

令和6年度 太田市の財政状況(上半期)

今回お知らせする財政状況は、6年4月1日～9月30日のものです。
※金額の端数は整理してあります。

歳入

予算額 1021億2821万円
収入済額 420億8600万円
収入率 41.2%

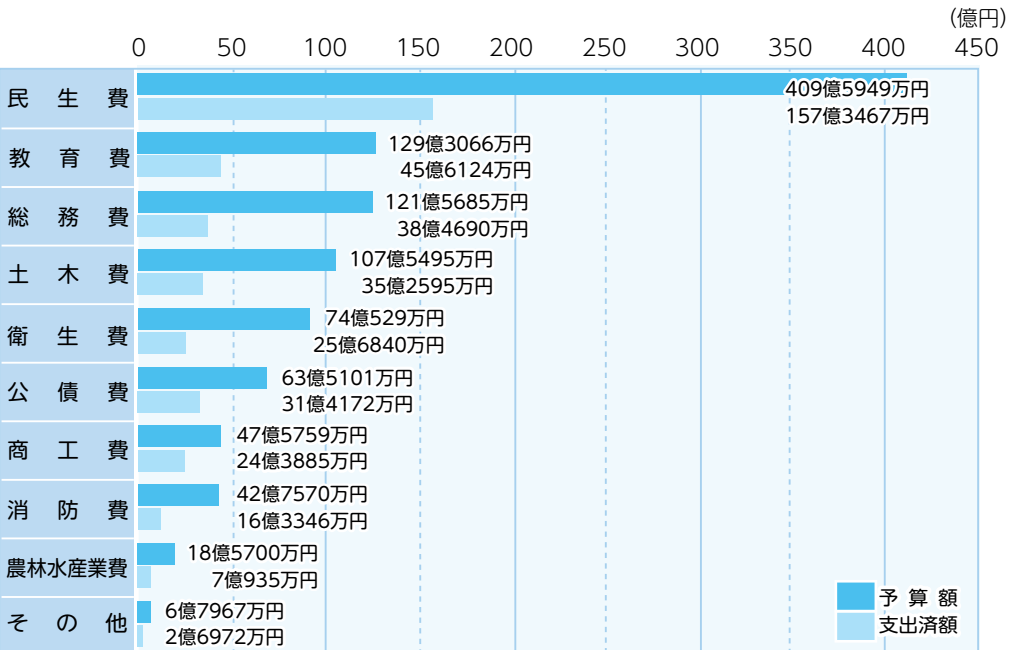


用語の解説

歳入	
市 税	市民税や固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業を行うため国から交付されたお金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されたお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち人口割合などに応じて交付されたお金
諸収入	他の項目に分類されないお金
市 債	道や建物など、長く使う施設などを建てるために借りるお金
繰入金	財源不足を補うための貯金の取り崩し
寄附金	特定の事業を行うためもらったお金
地方交付税	財源不足を補うため財政事情に応じて国から交付されたお金
その他	財産収入やその他の歳入

歳出

予算額 1021億2821万円
支出済額 384億3026万円
支出率 37.6%



歳出

民 生 費	幼児やお年寄り、体の不自由な人のために使われたお金
教 育 費	小・中・高等学校の経費や市民の学習・文化活動に使われたお金
総 務 費	市役所の全般的な事務に使われたお金
土 木 費	道路や河川、公園など土木工事に使われたお金
衛 生 費	ごみ・し尿処理施設や予防接種などに使われたお金
公 債 費	借入金を返済するために使われたお金
消 防 費	消防活動や災害を防ぐために使われたお金
商 工 費	商業や工業の発展のために使われたお金
農 林 水 産 業 費	農業、畜産業の発展や土地改良などに使われたお金
その他	議会費や労働費など、その他の支出

※歳入、歳出ともに令和5年度からの繰越分を含みます。

市民が負担した各種税金の内訳

合計251億7192万円

固定資産税
119億8107万円



市民税
106億1346万円



市たばこ税
7億9783万円



都市計画税
10億221万円



軽自動車税
7億7707万円



入湯税
28万円



市民1人あたりに使われたお金

合計 17万2459円

人口：22万2837人
(6年9月末現在)



民生費
7万611円



教育費
2万469円



総務費
1万7263円



土木費
1万5823円



衛生費
1万1526円



公債費
1万4099円



商工費
1万945円



消防費
7330円



農林水産業費
3183円

その他
1210円

6年9月末現在の市債現在高(一般会計)

509億5997万円

教育	121億9467万円
土木	63億1364万円
総務	61億1774万円
保健衛生	26億1125万円
臨時財政対策債	208億3689万円
その他	28億8578万円

特別会計

	国民健康保険	後期高齢者医療	八王子山墓園	介護保険	太陽光発電事業
予算額	201億7839万円	34億2131万円	5億3291万円	184億7722万円	2億6027万円
入った額	74億544万円	10億3412万円	2971万円	77億8808万円	1億4045万円
使った額	71億3853万円	9億1372万円	2億853万円	72億6556万円	1億7205万円

市有財産 (6年9月末現在) 管財課 ☎0276-47-1822

有価証券等

5億4951万円



出資金

46億9488万円



基金

204億6685万円



土地

741万5791㎡



建物

85万8904㎡



無料

チラシ折り込みで
広報おおたを配布

広報おおたの発行日以降の土曜日にお届けします。 ※タウンぐんまに折り込むので、広報のみの配布はできません。
申し込み・中止はタウンぐんまポスティング事務局へ ☎027-212-9010(午前10時～午後5時 土・日曜日、祝日を除く)

こちらからも
申し込み可▶

